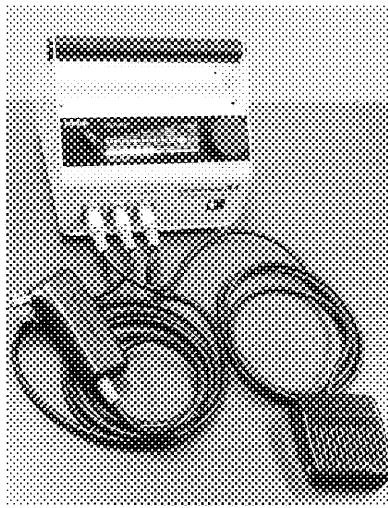


放電被覆装置 速度2倍

三和商工が小型軽量化

三和商工（東京都渋谷区、堀幸平社長）は、金型の摩耗を予防するタンクステンカーバイ放電被覆装置「デポジ



三和商工の「デポジトロンエーワン」

トロン」を7月にリニューアル発売する。小型軽量化し、電圧はそのまま、被覆の速度は約2倍とし、精度も高めた。消費税抜き希望小売価格は48万円。年間150台の販売を目指す。

発売する「デポジトロンエーワン」は幅220mm×奥行230mm×高さ195mmで、重量は約6kgだ。放電

強度は24段階、振動強度は8段階まで調整できる。

プレス金型で起きる端材による製品の損傷「カス上がり」の対策では、最大被覆高さを従来機の30%（マイクロは100万分の1）から50%とし、従来より幅広いクリアランスに対応できる。手軽に広範囲へ被覆できるため、溶けたアルミニウムが当たってダイカスト金型が消耗する「湯当たり」防止でも多くの金型に対応できる。

三和商工は2017年の創業50周年を機にリニューアルプロジェクトに着手し、今回製品化した。堀社長は「作業現場を華やかにするため、製品カラーには明るい黄色を採用した」と話す。エーワンは現在、先行デモを受け付けており、発売に合わせて使用する電極棒のラインアップの拡充を予定している。